

平成29年度 物療校友会総会議事録

開催日時：平成30年5月19日（土）15：50～17：15

開催場所：大阪市立難波市民学習センター OCATビル

書記：井上 亮

審議を行う前に辻会長より開会の挨拶、続いて的場大阪物療大学同窓会（以下、同窓会）会長より来賓の挨拶があった。

議長には北林氏（三重県支部支部長）が選出された。

司会の宮原氏より、総会資格審査の内容および総会成立の旨が説明され、総会運営についても報告された。

議事審議

1. 平成29年度事業報告について執行部 辻会長より説明がなされた。
2. 平成29年度決算報告について執行部 深瀬副会長より説明がなされた。
3. 平成29年度監査報告について監事 山田氏より説明がなされた。

議長が1～3号議案の承認を諮り、賛成多数で承認された。

4. 審議事項として、校友会の今後の方針（合併、解散など）について辻会長より以下の内容の説明がなされた。また、執行部では決定しかねる事態となったため、今回総会での審議を願いたいとのことである。

今期会報にも掲載した物療校友会の今後の方針について以下の4案が出された。

- 1案 新しく「物療学園同窓会・・・大学部会・専門学校部」を創る
- 2案 組織を縮小し、校友会の存続
- 3案 校友会を解散する
- 4案 解散するが、活動している学術部のみを新たな会として継続する

以上の内容が2月3日の役員会で思案されたが結果が出ず総会で会員の意見を聞くこととなった。

また、これらの内容については、事前に各地方支部（30）にアンケートを送付しており、3支部から以下の回答があった。

- 1) 支部長に諮る必要はない 2) 合併・継続運営を望む 3) 役員会に一任

また、大学同窓会の現状は、昨年 6 月に 1 度は合併合意した大学同窓会と物療校友会であったが、学園指導の元、白紙撤回となっている。しかしながら、その後大学同窓会は運営が立ち行かなくなっているのが現状である。理由としては大学を卒業してまもない彼らが時間的余裕もなく、会の運営ノウハウもなく、今となってはどうしていいかわからないなどとされている。

議事 4 に対して、以下の意見・質問があった。

- ・ 1 案がよい。大学部会の承認は得られるのか。
- ・ 大学部会と専門学校部会との溝は大きい。合併は無理ではないか。
- ・ 現行の大学同窓会、新たな学年が作る大学同窓会ともに、合併の後、大学部会として同窓会を続けていけるとは思えない。後任も決まっていない。しかし、同窓会側としては合併で進めていきたい。
- ・ 大学同窓会としても会費の徴収がうまくいっていない。同窓会への卒業生の取り込みもうまくいっていない。同窓会として会員から必要とされていないように感じる。
- ・ 当校以外にも専門学校から大学に移行しているが、他の学校では合併した同窓会となっている。他学にできて物療学園にできないはずがない。
- ・ 上記の論旨を聴いたうえで、できない（決まっていない）ことを総会資料に載せるのはどうか。

- ・ 校友会も、年会費は現在会員の 1 割の納入が限度であり、会費納入率や、総会への返信はがきの数を考えても、大半の会員が校友会を必要としていないのがわかる。
- ・ 解散するのはけっこうだが、解散に関する会則がない。解散には会則の改正が必要だ。

- ・ 学術部のみの会として活動していきたい（校友会は解散の上）。
- ・ 学園とは一線を画した関係とし、物療学園の OB が主体となった同窓会にしてほしい。OB 会自体がなくなるのはさみしい。学術部主体でいいので残してほしい。
- ・ 入りたい人は入会金、会費を払っていただき、入りたくない方は入会しなくてよい。

《執行部および社会長からの説明》

- ・校友会役員は先の 3 月にて任期満了であるが、今回自薦他薦ともなく、会長をはじめとする役員がいないのが現状である。
- ・また、大学同窓会も 3 月末までには新会長候補が決定できる予定であったが、今日現在でも候補はでていない。
- ・理学・作業の卒業生からも会費納入がある。放射線の卒業生だけでつぶすわけにはいかない。
- ・今活動している学部を主体として校友会を 1 年運営し、どういう結論がでるか、もう一度見極めていきたい。それで駄目なら、会則に解散を盛り込み、解散する。とりあえずは時間をいただきたい。

上記を受け、今後 1 年は事業を縮小し、学部主体で活動する。また、現在の大学生物療大学卒業生などは個人的な勧誘により自由意思による新規入会を推進する（物療学園卒業生として）。またそれに伴い、会則の改正も行う。また、現行の大学同窓会に関しても今後協議を重ね、同窓会加入者は入会金無く、個人の自由意志にて入会可能とする（年会費は考慮する）。

以上を受けて、第 3 案を主体として卒業生の入会を推進することとなった。議長がこの承認を諮り、賛成多数で承認された。

今後の方針として、中心人物として平成 17 年卒の西氏を推挙され、西氏の会長就任の承認を得た。また西氏を中心にメンバーと整え、今年 1 年活動していくこととなった。

議事 4 以降（役員人選、平成 30 年度事業計画および予算）は新会長である西会長に一任し、後日 HP での公表を行う形で全会一致を得た。

以上ですべての議事が終了し、17 時 15 分に閉会した。

議事録作成日 平成 30 年 5 月 25 日

議事録作成者

井上 亮

議事録署名人

安田 憲幸 ㊞